

JIS

ハンドブック

非

鉄

JIS

ハンドブック

非鉄

日本規格協会

まえがき

日本工業規格（JIS）は、工業標準化法に基づいて制定される国家規格として、生産におけるコストの低減、取引の単純公正化、使用・消費の合理化等に重要な役割を果たしてきましたが、周囲の状況の変化により、安全、環境保全、省エネルギーといった新たな立場からの要求がなされており、さらに国際規格との整合、JIS マーク表示制度の国外への開放等が実施されることになりました。

また、JIS は、適正な内容を維持するために、5 年ごとに見直しが行われます。

本書は、関連する JIS を収集し使いやすく分類・整理したものです。

- ① 利用上の簡便さを目的としたため、原規格の内容を抜粋して収録しています。したがって、商取引等に使用する際には原規格を必ず御参照下さい。
- ② 原則として昭和60年3月までに制定・改正された非鉄関係の JIS を収録したものです。

本書の編集については、工業技術院標準部担当官、関係各団体、学識経験者など、各界の方々の懇切な御指導を受けており、ここに記して謝意を表します。

本書は、まだ不備点があると思われます。御利用者各位の御愛用にこたえるため、今後いろいろと改善を加えていく所存です。本書についてお気付きの点や御意見があれば、読者カードにより当協会に寄せられるよう希望します。

1985 年 4 月

日本規格協会

表面処理関係は、1983年版より JIS ハンドブック金属表面処理に譲りました。

凡 例

1. 本文題名（規格名）の右に、かっこで示したものは、切換え前の規格を示す。

JIS (1950. 55) 改正	日本標準規格 第110号
JES 金属 2102	臨時日本標準規格 第10号
鋼 JES 10	↓
旧 JES 110	日本金属規格 2102
	日本工業規格 H 2102

は右の省略である。

注 「 」 のないものは新制定の規格で切換え前の規格がないことを表す。

2. “以上” “以下” “を越え” 及び “未満” の使い方

(1) “以上” 及び “以下” は、その文字の前にくるものを含みます。

(2) “を越え” 及び “未満” は、その文字の前にくるものを含みません。

3. JIS 名称及び規格本文中の術語のかな書きについて

従来、JIS 名称及び規格本文中の術語は、かな書きにする場合、かたかな書きとなっていました。昭和41年8月1日、JIS Z 8301（規格票の様式）が改正され、“術語及び術語に準ずる用語に用いるかなは、外来語の場合を除きひらがな書きとする。” ことになりました。

したがって本書に収録の JIS の術語は、昭和41年8月1日以後改正されたものはひらがな書きとなっていますが、それ以後改正されていない JIS の術語は、かたかな書きとなっています。これも今後改正の際に、ひらがな書きに改められることになっています。

4. 国際単位系 (SI) について

JIS には、国際単位系 (SI) が導入されていますが、その導入の経過、内容等につきましては、巻末に記載されていますので、ご参照下さい。

記号の意味

記号	意 味
①	工業標準化法第19条に基づく指定商品に指定されている規格。 JIS マーク表示制度が適用されている。
②	工業標準化法第25条に基づく指定加工技術に指定されている規格。 JIS マーク表示制度が適用されている。
③	前年版発行後に改正された規格。
④	原規格に解説があることを示す。
⑤	今回新たに追加された規格。
◇	近く改正予定の規格。

目 次

規格番号

名 称

ページ

〔用 語〕

JIS Z 2500 (1960)	粉末や金用語	11
-------------------	--------	----

〔金属材料共通試験方法〕

JIS Z 2201 (1980)	金属材料引張試験片	23
JIS Z 2202 (1980)	金属材料衝撃試験片	30
JIS Z 2203 (1956)	金属材料抗折試験片	31
JIS Z 2204 (1969)	金属材料曲げ試験片	32
JIS Z 2241 (1980)	金属材料引張試験方法	33
JIS Z 2242 (1980)	金属材料衝撃試験方法	38
JIS Z 2243 (1981)	ブリネル硬さ試験方法	41
JIS Z 2244 (1981)	ビッカース硬さ試験方法	43
JIS Z 2245 (1981)	ロックウェル硬さ試験方法	45
JIS Z 2248 (1975)	金属材料曲げ試験方法	47
JIS Z 2251 (1980)	微小硬さ試験方法	49
JIS Z 2273 (1978)	金属材料の疲れ試験方法通則	51
JIS Z 2343 (1982)	浸透探傷試験方法及び欠陥指示模様等の等級分類	56
JIS Z 2344 (1978)	金属材料のバルス反射法による超音波探傷試験方法	63
JIS Z 2371 (1976)	塩水噴霧試験方法	85

〔非鉄金属材料の試験・検査〕

JIS H 0001 (1979)	アルミニウム及びアルミニウム合金の質別記号	91
JIS H 0301 (1952)	地金の試験ならびに検査通則	96
JIS H 0321 (1973)	非鉄金属材料の検査通則	98
◇ JIS H 0501 (1957)	伸銅品結晶粒度試験方法	99
◇ JIS H 0502 (1974)	銅及び銅合金管のか(渦)流探傷試験方法	107
JIS H 0505 (1975)	非鉄金属材料の体積抵抗率及び導電率測定方法	109
JIS H 0511 (1977)	スポンジチタンのブリネル硬さ測定方法	111
JIS H 0521 (1968)	アルミニウム及びアルミニウム合金の大気腐食試験方法	114
JIS H 0522 (1969)	アルミニウム鋳物の放射線透過試験方法及び透過写真の等級分類方法	120
JIS H 8711 (1977)	アルミニウム合金材料の応力腐食割れ試験方法	125
JIS W 1103 (1979)	航空機用アルミニウム合金の熱処理	128

〔原 材 料〕

② JIS H 2102 (1968)	アルミニウム地金	149
② JIS H 2103 (1965)	アルミニウム二次地金	150

規格番号	名 称	記 号	ページ
⑦ JIS H 2104 (1970)	ニッケル地金	N	151
⑦ JIS H 2105 (1955)	鉛地金		152
⑦ JIS H 2107 (1957)	亜鉛地金		153
⑦ JIS H 2108 (1956)	すず地金		154
◇ JIS H 2109 (1976)	銅くず及び銅合金くず分類基準		155
JIS H 2110 (1968)	電気用アルミニウム地金		161
JIS H 2111 (1968)	精製アルミニウム地金		162
⑦ JIS H 2112 (1958)	アンチモン地金		163
⑦ JIS H 2113 (1961)	カドミウム地金		164
JIS H 2114 (1983)	銅粉		165
JIS H 2115 (1962)	水銀地金		167
⑦ JIS H 2116 (1979)	タングステン粉及びタングステンカーバイド粉		168
⑦ JIS H 2117 (1984)	鋳物用アルミニウム二次合金地金	C × S	173
⑦ JIS H 2118 (1976)	ダイカスト用アルミニウム二次合金地金	D × S	175
⊗ JIS H 2119 (1984)	アルミニウムくず及びアルミニウム合金くず分類基準		176
⑦ JIS H 2121 (1961)	電気銅地金		182
⑦ JIS H 2122 (1961)	さお銅		183
JIS H 2123 (1971)	タフビッチ形銅	C-TCu, B-TCu	184
JIS H 2124 (1971)	りん脱酸形銅	C-DPCu, B-DPCu	185
JIS H 2125 (1969)	無酸素形銅	B-OFCu, C-OFCu	186
⑦ JIS H 2141 (1964)	銀地金		187
JIS H 2150 (1961)	マグネシウム地金		188
⑦ JIS H 2151 (1983)	スポンジチタン	TS	189
JIS H 2152 (1972)	成形チタン	TC-1, TC-2	191
⑦ JIS H 2201 (1957)	ダイカスト用亜鉛合金塊		192
⊗ JIS H 2202 (1985)	鋳物用黄銅合金地金	YBsCIn	193
⊗ JIS H 2203 (1985)	鋳物用青銅合金地金	BCIn	194
⊗ JIS H 2204 (1985)	鋳物用りん青銅合金地金	PBCIn	195
⊗ JIS H 2205 (1985)	鋳物用高力黄銅合金地金	HBsCIn	196
⊗ JIS H 2206 (1985)	鋳物用アルミニウム青銅合金地金	AlBCIn	197
⊗ JIS H 2207 (1985)	鋳物用鉛青銅合金地金	LBCIn	198
⊗ JIS H 2211 (1984)	鋳物用アルミニウム合金地金	C × V	199
⑦ JIS H 2212 (1976)	ダイカスト用アルミニウム合金地金	D × V	201
JIS H 2221 (1976)	鋳物用マグネシウム合金地金	MCIn	202
JIS H 2222 (1976)	ダイカスト用マグネシウム合金地金	MDCIn	203
JIS H 2231 (1962)	活字合金地金	K	204
⑦ JIS H 2501 (1982)	りん銅地金	PCu	205
JIS H 2502 (1961)	マグネシウムニッケル地金	MgNi	206
JIS H 2503 (1961)	マグネシウム銅地金	MgCu	207
JIS H 2504 (1963)	ベリリウム銅地金		208
JIS H 2601 (1983)	鉄粉		209

〔伸 銅 品〕

◇ JIS H 3100 (1981)	銅及び銅合金の板及び条	C × × × × P, P P, R	213
◇ JIS H 3110 (1981)	りん青銅及び洋白の板及び条	C × × × × P, R	231

◇の JIS H 3130 (1981)	ばね用ベリリウム銅, りん青銅及び洋白の板及び条	C××××P, R	237
◇の JIS H 3140 (1981)	銅ブスバー	C××××BB	246
◇の JIS H 3250 (1981)	銅及び銅合金棒	C××××BD, BDS, BE, BF	250
◇の JIS H 3260 (1981)	銅及び銅合金線	C××××W	260
◇の JIS H 3270 (1981)	ベリリウム銅, りん青銅及び洋白の棒及び線	C××××B, W	265
◇の JIS H 3300 (1981)	銅及び銅合金継目無管	C××××T, TS	273
◇の JIS H 3320 (1981)	銅及び銅合金溶接管	C××××TW, TWS	288
の JIS H 3401 (1979)	銅及び銅合金の管継手	T, ×EA, B, C	296
◇ JIS H 3510 (1981)	電子管用無酸素銅の板, 条, 継目無管, 棒及び線	C××××BD, BE, P, R, T, TS, W	302

〔アルミニウム及びその合金の展伸材〕

の JIS H 4000 (1982)	アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条	A××××P, PC, PS	313
JIS H 4001 (1982)	アルミニウム及びアルミニウム合金の塗装板及び条		339
の JIS H 4040 (1982)	アルミニウム及びアルミニウム合金の棒及び線	A××××BE, BES, BD, BDS, W, WS	344
の JIS H 4080 (1982)	アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管	A××××TE, TES, TD, TDS	358
の JIS H 4090 (1980)	アルミニウム及びアルミニウム合金溶接管	A××××TW, TWS, TWA	374
の JIS H 4100 (1982)	アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材	A××××S	385
JIS H 4140 (1982)	アルミニウム及びアルミニウム合金鍛造品	A××××FD, FH	398
の JIS H 4160 (1985)	アルミニウム及びアルミニウム合金はく	A××××H	406
の JIS H 4170 (1974)	高純度アルミニウムはく	A××××H	411
の JIS Z 1520 (1975)	はり合せアルミニウムはく		412
の JIS H 4180 (1980)	アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び管の導体	A××××PB, SB, SBC, SBS, SBSC, TB, TBS	413
JIS Z 3232 (1979)	アルミニウム及びアルミニウム合金溶接棒並びに電極ワイヤ		421
JIS Z 3263 (1980)	アルミニウム合金ろう及びブレージングシート		429

〔銅・アルミニウム以外の金属とその合金〕

JIS H 4201 (1976)	マグネシウム合金板	MP	441
JIS H 4202 (1982)	マグネシウム合金継目無管	MT	442
JIS H 4203 (1982)	マグネシウム合金棒	MB	444
JIS H 4204 (1982)	マグネシウム合金押出型材	MS	447
の JIS H 4301 (1955)	鉛板	PbP	451
の JIS H 4302 (1956)	硬鉛板	HPbP	452
の JIS H 4311 (1977)	鉛管	PbT	453
の JIS H 4312 (1981)	水道用鉛管	PbTW×	455
の JIS H 4313 (1956)	硬鉛管	HPbT	458
JIS H 4321 (1953)	亜鉛管		459
JIS H 4460 (1984)	照明及び電子機器用タングステンモリブデン材料の試験通則		461
の JIS H 4461 (1984)	照明及び電子機器用タングステン線	VWW	465
の JIS H 4462 (1984)	照明及び電子機器用タングステン棒	VWB	468

規格番号	名 称	記 号	ページ
④ JIS H 4463 (1984)	照明及び電子機器用トリエーテッドタングステン線及び棒	VTWW, VTWB	470
JIS H 4471 (1984)	照明及び電子機器用タングステンモリブデン合金線	VWMW	472
④ JIS H 4481 (1984)	照明及び電子機器用モリブデン線	VMW	474
④ JIS H 4482 (1984)	照明及び電子機器用モリブデン棒	VMB	477
JIS H 4483 (1984)	照明及び電子機器用モリブデン板	VMP	478
④ JIS H 4501 (1977)	電子管用ニッケル板及び条	VNiP	480
④ JIS H 4502 (1977)	電子管陰極用ニッケル板及び条	VCNiP	482
④ JIS H 4511 (1977)	電子管用ニッケル棒及び線	VNiW	484
④ JIS H 4522 (1960)	電子管陰極用継目無ニッケル管	VCNiT	486
JIS H 4531 (1972)	ジュメット線用心金		488
④ JIS H 4541 (1975)	ジュメット線		489
④ JIS H 4551 (1977)	ニッケル銅合金板	NCuP	490
④ JIS H 4552 (1977)	ニッケル銅合金継目無管	NCuT	492
JIS H 4553 (1978)	ニッケル銅合金棒	NCuB	494
JIS H 4554 (1978)	ニッケル銅合金線	NCuW	496
JIS H 4555 (1978)	ニッケル銅合金条	NCuR	498
JIS H 4561 (1981)	ニッケル及びニッケル合金板	NNCP, NLCP, NDP	500
JIS H 4562 (1981)	ニッケル及びニッケル合金棒	NNCB, NLCP, NDB	503
JIS H 4600 (1979)	チタン板及び条	TP, TR	505
JIS H 4630 (1979)	配管用チタン管	TTP	509
JIS H 4631 (1979)	熱交換器用チタン管	TTH	513
JIS H 4650 (1979)	チタン棒	TB	517
JIS H 4670 (1979)	チタン線	TW	519
JIS H 4701 (1975)	タンタル展伸材	TaP, TaR, TaH, TaB, TaW	521
JIS H 4751 (1981)	ジルコニウム合金管		523

〔粉末や金〕

JIS Z 2501 (1979)	焼結含油軸受の含油率試験方法		531
JIS Z 2502 (1979)	金属粉の流動度試験方法		532
JIS Z 2503 (1960)	金属粉の試料採取方法		534
JIS Z 2504 (1979)	金属粉の見掛密度試験方法		535
JIS Z 2505 (1979)	金属焼結材料の焼結密度試験方法		537
JIS Z 2506 (1979)	焼結含油合金の有効多孔率試験方法		538
JIS Z 2507 (1979)	焼結含油軸受の圧縮強さ試験方法		539
④ JIS Z 2550 (1983)	機械構造部品用焼結材料		541

〔鑄 物〕

JIS H 5101 (1979)	黄銅鑄物	YBSC	547
JIS H 5102 (1979)	高力黄銅鑄物	HBSC	549
JIS H 5111 (1979)	青銅鑄物	BC	551
JIS H 5112 (1979)	シロン青銅鑄物	SzBC	554
JIS H 5113 (1979)	りん青銅鑄物	PBC	555
JIS H 5114 (1979)	アルミニウム青銅鑄物	AlBC	558
JIS H 5115 (1979)	鉛青銅鑄物	LBBC	561

規格番号	名 称	記 号	ページ
JIS H 5202 (1982)	アルミニウム合金鋳物	AC	563
JIS H 5203 (1975)	マグネシウム合金鋳物	MC	572
JIS H 5301 (1979)	亜鉛合金ダイカスト	ZDC	576
JIS H 5302 (1976)	アルミニウム合金ダイカスト	ADC	580
JIS H 5303 (1976)	マグネシウム合金ダイカスト	MDC	583
⑦ JIS H 5401 (1958)	ホワイトメタル	WJ	584
JIS H 5402 (1958)	軸受用アルミニウム合金鋳物	AJ	586
JIS H 5403 (1958)	軸受用銅・鉛合金鋳物	KJ	587
JIS H 5601 (1977)	硬鉛鋳物	HPbC	588

〔二次製品及び雑〕

JIS H 5501 (1975)	超硬合金鋸	S, G, D	591
JIS H 6101 (1958)	製紙用金網		593
JIS H 6102 (1955)	非鉄金網		596
JIS H 6125 (1961)	防食用マグネシウム陽極鋸	MGA	598

〔電気用材料及び雑〕

JIS C 2509 (1965)	通信機器用接点材料鋸	CP	601
◇⑦ JIS C 2520 (1975)	電熱線及び帯鋸	NCHW, NCHR, FCHW, FCHR	604
◇⑦ JIS C 2521 (1976)	銅ニッケル抵抗線, 帯及び板鋸	CN	628
◇⑦ JIS C 2522 (1976)	マンガンニ線, 棒及び板鋸	CM	640
JIS C 2523 (1976)	酸化銅ニッケル抵抗線鋸	OCNW	648
JIS C 2531 (1978)	鉄ニッケル磁性合金板及び条鋸	PB, PC, PCS, PD, PE	653
⑦ JIS C 2532 (1980)	一般用抵抗線, 帯, 条及び板鋸	CN	659
⑦ JIS C 2801 (1976)	整流子片鋸	CMR	676
⑦ JIS E 2101 (1977)	みぞ付硬銅トバリ線		679
⑦ JIS E 2102 (1977)	円形硬銅トバリ線		681

〔一 般〕

JIS Z 8401 (1961)	数値の丸め方		685
JIS Z 8601 (1954)	標準数鋸		686
⑩ JIS Z 8703 (1983)	試験場所の標準状態鋸		688
JIS Z 8801 (1982)	標準ふるい鋸		690

〔参 考〕

非鉄金属記号の表し方	697
非鉄金属記号の分類別一覧表	699
延伸材用アルミニウム及びアルミニウム合金の国際合金記号	704
JISと関連外国規格との比較表(材料記号付)	712
非鉄金属関係ISO規格一覧	737

伸銅品種類名称及び化学成分新旧対照表	750
硬さ換算表	754
伸銅品の質量表	756
アルミニウム板・管・棒の質量表	759
単位換算表	761
JIS で用いる計量単位の国際単位系 (SI) への移行について	763
SI 単位換算率表	764
おもな元素記号及び密度	765
非鉄金属関係関連 JIS 一覧	766
非鉄金属関係の団体	775

用 語

JIS Z 2500(1960) 粉末や金用語.....	11
------------------------------	----

JIS Z 2500

(1960)

粉末や金用語

Powder Metallurgy Terms

1. 適用範囲 この規格は、粉末や金において術語として用いるおもな用語とその対応英語、意義について規定する。

2. 分類 粉末や金用語をつぎの5部門にわけける。

- (1) 一般
- (2) 粉末関係
- (3) 成形関係
- (4) 焼結関係
- (5) 焼結製品関係

3. 用語 おもな粉末や金用語についてつぎのように規定する。

(1) 一般

番号	用語	読み方	意義	対応英語(参考)
101	粉末や金	ふんまつやきん	金属粉*の製造および金属粉*の圧縮と焼結*による金属製品の製造についての技術。広義には同様の技術による酸化物磁性体*、サーメット*などの製造技術を含む。	Powder metallurgy
102	粉末	ふんまつ	最大寸法1000ミクロン以下の粒子の集合体。	Powder
103	成形	せいけい	粉末*を圧縮して、ある形を与えること。	Compacting, Molding
104	焼結	しょうけつ	加熱により粉末*の粒子あるいは圧粉体の粒子を結合させること。	Sintering
105	焼結製品	しょうけつせいひん	焼結*によってつくられたもの。	Sintered product

(2) 粉末関係

番号	用語	読み方	意義	対応英語(参考)
201	粉状化	ふんじょうか	原料を粉末*にすること。	Disintegration
202	粉碎	ふんさい	機械的方法によって原料を砕いて粉末*とすること。	Pulverization
203	スタンピング		落下するきねの衝撃により粉砕*すること。	Stamping

注 * は、この規格で規定された用語

番 号	用 語	読 み 方	意 義	対応英語(参考)
204	ミリング		ボールミルなどにより粉砕すること。あるいはそれと同時に一つの成分粒子の表面を他の成分粉末でおおうこと。	Milling
205	粒 状 化	りゅうじょうか	熔融金属を水に流し、あるいは凝固のときはげしくかきたてるかしてあらい粒にすること。	Granulation
206	噴 霧 化	ふんむか	熔融金属を気体または液体の流れによって飛散凝固させ粉末*にすること。	Atomization
207	造 粒	ぞうりゅう	充てんしやすくするため粉末*を適當の大きさの粒にすること。	Granulation
208	金 属 粉	きんぞくふん	金属の粉末。広義には合金粉*を含む。	Metal powder
209	非金属粉	ひきんぞくふん	非金属の粉末*。	Non-metal powder
210	合 金 粉	ごうきんふん	合金組成の粒子からなる粉末*。	Alloy powder
211	複 合 粉	ふくごうふん	化学的、電気化学的方法によって他種金属でその周囲を被覆した粒子からなる粉末*。	Composite powder
212	ケ ー ク		還元したままの金属粉*のかたまり。	Cake
213	微 粉	び ふ ん	最大寸法 44 ミクロン以下の粒子からなる粉末*。	Fines
214	超 微 粉	ちょうびふん	最大寸法 10 ミクロン以下の粒子からなる粉末*。	Super fines
215	サブシーブ粉	さぶしーふふん	最も細い 44 ミクロンの標準ふるいを通る粉末*。	Subsieve fraction
216	ダ ス ト		空気流で容易に運ばれる位の大きさの粉末*。	Dust
217	還 元 粉	かんげんふん	還元して造られる粉末*。	Reduced powder
218	粉 碎 粉	ふんさいふん	粉砕*して造られる粉末*。	Pulverized powder
219	電 解 粉	でんかいふん	粉末状に電解析出して造られる粉末*。	Electrolytic powder
220	粉砕電解粉	ふんさいでんかいふん	塊状に電解析出された金属を粉砕*して造られる粉末*。	Electrolytic powder
221	噴 霧 粉	ふんむふん	噴霧化*で造られる粉末*。	Atomized powder
222	カルボニル粉	かるばんにふん	金属カルボニルの熱分解によって造られる粉末*。	Carbonyl powder

番 号	用 語	読 み 方	意 義	対応英語 (参考)
223	置換析出粉	ちかんせきしゅつふん	金属の塩類溶液に他の金属を加えて置換によって造られる粉末*。	Electrolytically replaced powder
224	球 形 粉	きゅうけいふん	球形の粒子からなる粉末*。	Spherical powder
225	粒 状 粉	りゅうじょうふん	球状ではないがこれに近い形の粒子からなる粉末*。	Granular powder
226	海綿状粉	かいめんじょうふん	多孔質粒子からなる粉末*。	Sponge powder
227	樹枝状粉	じゅしじょうふん	樹枝状形の粒子からなる粉末*。	Dendritic powder
228	板 状 粉	ばんじょうふん	かなり厚い、平らな粒子からなる粉末*。	Plates
229	片 状 粉	へんじょうふん	厚さが他の部分の寸法にくらべて非常に小さい平板状の粒子からなる粉末*。	Flake powder
230	角 状 粉	かくじょうふん	角張った粒子からなる粉末*。	Angular powder
231	針 状 粉	しんじょうふん	細い針状の粒子からなる粉末*。	Acicular powder
232	不規則形粉	ふきそくけいふん	対称性を欠く粒子からなる粉末*。	Irregular powder
233	混 合	こんごう	組成の異なる二つ以上の粉末*または他の物質を完全に混ぜ合わせること。	Mixing
234	ブレンディング		同一組成の粉末*を混ぜ合わせること。	Blending
235	バンピング		押型*の中の粉末*に振動を与えて粉末*をおちつかせること。	Bumping down
236	ブリッジング		粉末*の粒子のからみ合いやおし合いによって粉末*の中にアーチ形の空間が生じる現象。	Bridging
237	増 孔 剤	ぞうこうざい	粉末*に加え、加熱により揮発させて焼結体*に所要の気孔を与える薬剤。	Pore-forming material
238	粉末潤滑剤	ふんまつじゅんかつざい	圧縮性*をよくし、また圧粉体*の取り出しを容易にするために粉末*に加える潤滑剤。	Powder lubricant
239	成 形 剤	せいけいざい	成形性をよくするために粉末*に加える薬剤。	Binder
240	結 合 剤	けつごうざい	それだけでは強い焼結体*になりにくいような粉末粒子を互いに固結させる特殊の目的のために加える粉末*。	Binder

番号	用語	読み方	意義	対応英語(参考)
241	粒 度	りゅうど	ふるいまたは他の適当な方法で決定した個々の粉末粒子の大きさ。	Particle size
242	粒度分布	りゅうどぶんぷ	試料粉末の分級物*の重量または個数の百分率で示す粒度*。	Particle size distribution
243	分 級	ぶんきゅう	粒度*にしたがって粉末をある階級に分けること。	Classification
244	分 級 物	ぶんきゅうぶつ	分級*された粉末*の個々の部分。	Fraction, Cut
245	ふるい分級	ふるいぶんきゅう	ふるいを用いる分級*。	Sieve classification
246	ふるい分級物	ふるいぶんきゅうぶつ	ふるいによる分級物*。	Sieve fraction
247	ふるい上	ふるいうえ	ふるい分けしたあとふるいの上に残った部分。	Plus sieve
248	ふるい下	ふるいした	ふるい分けのときふるいを通った部分。	Minus sieve
249	空気分級	くうきぶんきゅう	空気流を利用する分級*。	Air classification
250	ふるい分析	ふるいぶんせき	ふるいを用いて粒度分布*を測定すること。	Sieve analysis
251	沈降分析	ちんこうぶんせき	静止流体の中で粉末粒子の落下速度の差を利用して粒度分布*を測定する方法。	Sedimentation analysis
252	比表面積	ひひょうめんせき	粉末*の cm^2/g で表わす単位重量当りの表面積。	Specific surface
253	見掛け密度	みかけみつど	粉末の単位体積当りの重量で普通は g/cm^3 で表わし、ある一定の方法によって決定される。	Apparent density, Bulk density, Loading weight
254	タップ密度	たっぱみつど	粉末*を充てんする間に、一定の条件で容器を振動させたりして得られる粉末*の見掛け密度*。	Tap density
255	流 動 度	りゅうどうど	一定の方法で一定重量の試料粉末が一つのあなから流出するに要する時間。	Flow rate
256	粉末流動計	ふんまつりゅうどうけい	流動度*の測定器。	Powder flow meter
257	還元減量	かんげんげんりょう	一定の方法により、水素気流中で粉末*または圧粉体*を加熱したときの重量減少の百分率。	Hydrogen loss

(3) 成形関係

番 号	用 語	読 み 方	意 義	対応英語(参考)
301	成 形 体	せいけいたい	粉末*を圧縮成形したもの、あるいはこれを焼結*したもの。	Compact
302	成形圧力	せいけいあつりょく	成形*するときの圧力。	Compacting pressure
303	押 型	おしがた	粉末*を圧縮し、定められた形に成形*するための工具。一般には再圧縮*, サイジング*およびコイニング*を行なうための工具も押型という。	Die, Mold
304	外 型	そとがた	粉末*を充てん圧縮する型あなのある押型*の部分。	Die body
305	パンチ		外型*の型あなに充てんした粉末*を直接圧縮する押型部品。	Punch
306	アッパ・パンチ		外型*の型あなの上方に入れられるパンチ*。	Upper punch
307	ロア・パンチ		外型*の型あなの下方に入れられるパンチ*。	Lower punch
308	押出パンチ	おしだしばんち	型あなから圧粉体*を押し出すパンチ*。	Stripper punch
309	組 型	くみがた	圧粉体*を容易に取り出せるように分割できる外型*からなる押型*。	Segment die, Split die
310	フローティング・ダイ		外型*がばねによってロア・パンチ*とアッパ・パンチ*の中間に保たれている押型。	Floating die
311	コア・ロッド		圧縮方向に あなのある圧粉体*を造るための棒状の押型部品。	Core rod
312	押型潤滑剤	おしがたじゅんかつざい	圧縮性*をよくし、また圧粉体*の取出しを容易にするために 外型*の内面またはパンチ*に塗る潤滑剤。	Die lubricant
313	常温圧縮	じょうおんあっしゅく	常温のもとで圧粉体*を造ること。	Cold pressing
314	高温圧縮	こうおんあっしゅく	粉末*または圧粉体*の加熱と成形*を同時に行なうこと。	Hot pressing
315	圧 粉 体	あっぱんたい	粉末*を押型*に入れて常温で圧縮成形した未焼結のもの。	Green compact